

AmataMirai

Report

あまたミライ(天野たみこ+数多の未来)

■ 県政へのご要望、ご意見などございましたらお気軽にお寄せください。
■ 送付先変更ご希望の方、送付ご不要の方は、天野たみこ事務所までご連絡ください。
静岡県議会議員天野たみこ 事務所 〒420-0832 静岡市葵区横内町89
TEL 054-295-5494 FAX 054-295-5495 Email amanotamiko1971@gmail.com



公式ホームページ

Vol.7
2026.8



県議会定例会(年4回)



AED使い方講習



上川陽子先生の応援



しめなわ作り(青木神社)



12月防災訓練(避難所)



長野県自然保育視察



富士山コスプレ大会(マリオが私です)



小泉進次郎防衛大臣

知ってる?静岡県データ

皆さんに知ってほしい静岡県の一部を「数字」で表してみました

もっと静岡を知ってみよう!
統計センター静岡HP
>>>



※静岡県のデータ

	令和元年	最新データ	増減 / 比率	
静岡県人口 (カッコ内は静岡市)	3,639,226人 (691,185人)	3,491,925人 (666,764人)	-147,301人/-4.0% (-24,421人/-3.5%)	県全体で15万人近い減少
小学生人数	190,302人	165,377人	-24,925人/-13.1%	減少幅が最も大きく、今後10年間で約15~20%以上の減少予想
観光客数	1億2,755万8千人	1億2,083万6千人	-672万2千人/-5.3%	コロナ前水準には届いていない
県GDP・名目県内総生産	約17兆8,256億円	約19兆1,182億円	+約1兆2,925億円 /+7.3%	名目では増加。 ただし物価上昇の影響も含む

ご挨拶

この3年間、私は、子どもたちの学びの場、不登校への支援、自然体験の大切さ、地域の力を未来につなげることを軸に、県政の現場で課題に向き合っていました。

多くの方にお会いして強く感じているのは、困っている人の声ほど、行政や政治に届きにくいということです。

その声を受け止め、課題を形にしていくことこそが、私の役割だと感じています。

県政は、遠いものではありません。

教育も、福祉も、防災も、地域の産業も、すべて日々の暮らしにつながっています。

今日と同じ平和な明日を守ること、そして災害や人口減少などの変化に対し、日常と安心を守ることが、政治の役目だと考えています。

声を聞くだけで終わらせない。

課題を語るだけで終わらせない。

一つひとつを次の一手へ、そして静岡県の未来をつくる力へと変えていく。

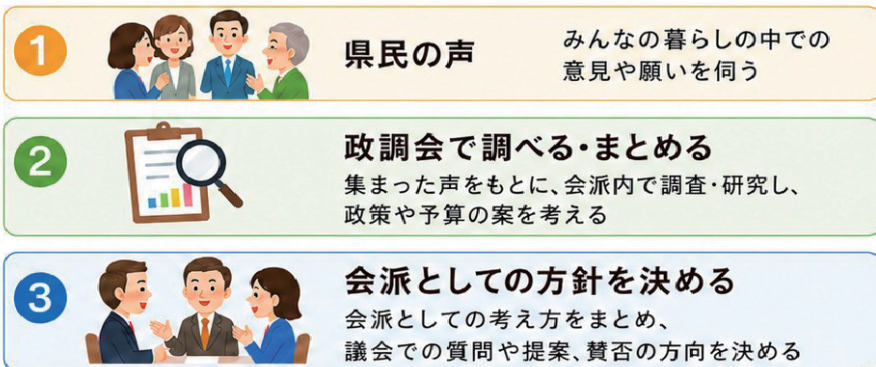
その覚悟を持って、これからも誠実に、粘り強く、県政に取り組んでまいります。



矢野多美子

令和8年度は『会派政調会』副会長を拝命しました

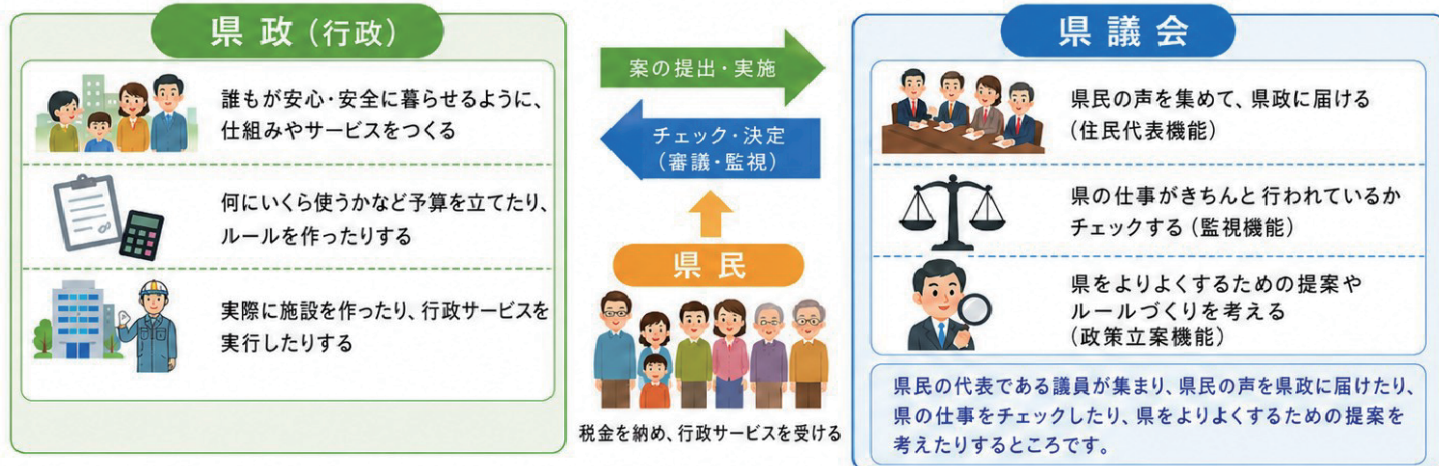
政調会（政務調査会）のしくみ



こうした活動を通して、
県民の声を県政に届けていきます！



県政・県議会のしくみ



常任委員会

常任委員会とは…分野ごとに政策を詳しく話し合う委員会。
課題研究・予算・決算の審議など。

令和7年度の報告

厚生委員会

医療・福祉・子育てなど、県民の命と暮らしに直結する分野を担当する委員会です。

私が所属した令和7年度から、こども・若者関連事業が集約されたことも踏まえ、子どもの権利や支援体制、福祉・医療の課題について、現場の声をもとに研究を深め、課題提起や質疑を行ってまいりました。

所属委員会は変わりますが、これまで向き合ってきたテーマについては、継続して取り組んでまいります。

令和8年度の目標

文化観光委員会(副委員長)

これまで取り組んできたコンテンツ政策をさらに深め、静岡県が多様な魅力を県内外に発信するとともに、観光や文化を経済・人流の創出につなげ、地域に希望が循環する政策として育ててまいります。特に、コンテンツに関しては、一時的な人気の便乗や消費にとどまる事なく、クリエイターの権利の保護、人材育成、販路開拓、契約の適正化、地域での消費につながる仕組みづくりまで進めることが重要です。現場の声を丁寧を受け止めながら、静岡県の未来につながる文化観光政策に取り組んでまいります。



これまでに発行した県政報告誌 **AmataMirai** 通信
郵送のご希望はお電話でも承ります **054-295-5494 (9:00~13:00)**



バックナンバー



vol.1 2023/6月

- ・ご挨拶
- ・県政を知ろう
- ・常任委員会だより
- ・県議会本会議とは?



vol.2 2024/1月

- ・座談会レポート
- ・常任委員会報告
- ・デュアルスクール構想



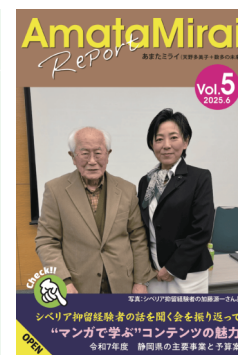
vol.3 2024/6月

- ・定例会一般質問報告
- ・常任委員会報告
- ・トークセッション案内
- ・小規模認定校について



vol.4 2024/10月

- ・静岡県補助制度一覧
- ・MANGAプロジェクト
- ・定例会一般質問報告
- ・過疎地と教育について
- ・静岡県データ



vol.5 2025/6月

- ・漫画で学ぶコンテンツの魅力
- ・セミナー報告・予告
- ・令和7年度静岡県事業
- ・定例会一般質問報告



vol.6 2025/11月

- ・たまコラム
- ・教育問題2025
- ・MANGAプロジェクト
- ・防災セミナー報告
- ・定例会一般質問報告



県議会一般質問の整理

1 議員になる前の活動と原点

自然体験の重要性

子どもの体験や
中山間地域の魅力に注目



推進活動を始め

市民活動で
行政や地域に働きかける



地域を回って見えたこと

制度や資源があっても
知られていない・使いにくい



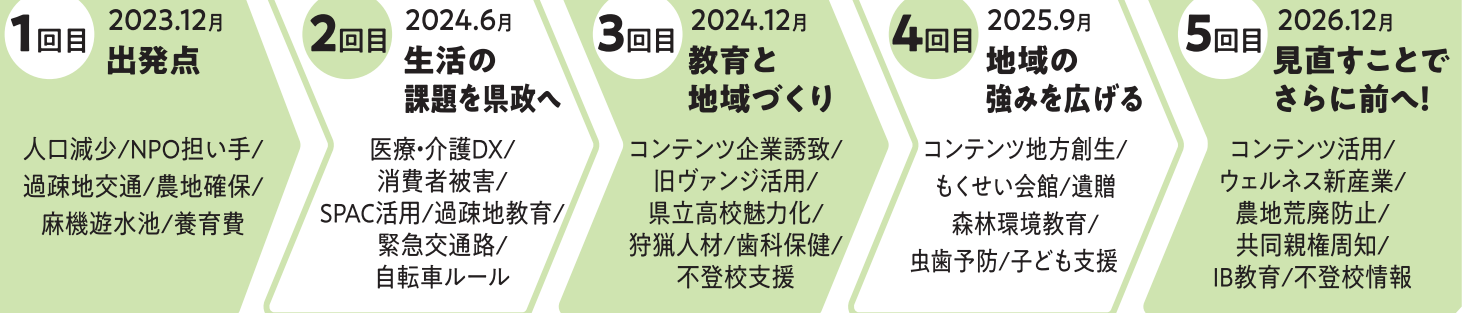
県会議員に立候補

どうしたら届く?を考えて
悩んだ末に立候補



「ある」だけではなく、「使える」仕組みが大事という問題意識が、県政での取り組みの原点となる。

2 3年間に行った一般質問のテーマ



3 質問した分野 ※重複あり

福祉・医療・子ども家庭	10件
産業・地域振興	10件
教育・文化	13件
農林・環境・中山間地	8件
建設・暮らし・防災	4件
警察・交通安全	3件

子ども・教育

- ・養育費
- ・不登校支援
- ・過疎地の教育
- ・国際バカロレア教育
- ・保護者への情報提供



暮らしを守る

- ・交通
- ・農地
- ・治水
- ・緊急交通路
- ・森林環境教育

地域の発展

- ・コンテンツ企業誘致
- ・施設活用
- ・ウェルネス新産業
- ・地域の魅力の発信



子ども・教育と地域を元気にするテーマが特に多い

バラバラに見えても、この3つの大きな柱で繋がっている

4 見えてきた特徴・3年間の変化

見えてきた
特徴

- * 身近な困りごとから出発
- * 困りごとの原因
県のしくみの課題としてとらえる
- * 教育・福祉・地域づくり・産業をつなぐ

3年間の
変化

- * 原点は自然体験教育の推進
- * 議会では生活課題の質問から開始
- * 次第に教育・地域・成長戦略を束ねる形へ

静岡県 令和8年度当初予算(一般会計)

教育・医療・福祉・道路整備など、県民の暮らしを支えるための予算です。

今年度の予算

1兆4,141億円

前年度より **418億円増 (+3.0%)**

県民1人あたり 約 **41万円**

(推計人口約345万人で単純計算)

この予算の4つのポイント



暮らしを支える

健康福祉費 **20.1%**

医療・介護・子育てを支えます



学びを支える

教育費 **19.7%**

学校・教育活動を充実



地域を支える

諸支出金 **19.6%**

市町への交付金など



未来に備える

交通基盤費 **8.2%**

道路・橋・港湾を整備



どこから入ってくる? (歳入)

県税を中心に、自主財源が61.9%を占めています。

自主財源 61.9%			依存財源 38.1%				
県税	地方消費税 清算金	その他 自主財源	地方 交付税	国庫 支出金	県債	地方 譲与税	その他 依存財源
38.3%	16.1%	7.5%	15.1%	9.5%	6.3%	5.9%	1.3%

【注釈】

その他の自主財源：諸収入、使用料・手数料、分担金、負担金、基金繰入金、寄附金繰等

その他の依存財源：地方特例交付金、交通安全対策特別交付金



何に使う? (歳出)

医療・福祉、教育、市町への交付金で全体の約6割を占めます。

健康福祉費	20.1%
教育費	19.7%
諸支出金	19.6%
公債費	14.0%
交通基盤費	8.2%
警察費	6.3%
経済産業費	5.9%
その他	6.2%

財政運営の工夫



自主財源の割合

61.9%

県が自ら確保する財源



事業見直しで確保

166億円

998事業を点検し財源を確保



活用可能基金

180億円

予算編成後の残高

県民の安心と地域の未来のために、必要な分野へしっかり配分した予算です。

静岡県の主な補助制度一覧(令和8年度抜粋)

1 事業所・団体等に対する補助制度

デジタル・クリエイティブ拠点開設事業費補助金 補助率1/2 総合政策課 若者・女性に魅力ある雇用を創出する企業の誘致を強化するための補助。 	デジタル人材確保育成事業補助金 補助率1/2 産業イノベーション推進課 AIを活用した県内企業の課題解決支援。 
産休等代替職員雇上事業費補助金 全額補助 子育て未来課 保育所、幼保連携型日程こども園等に勤務する職員の産休、または傷病による代替職員雇用に係る経費を補助。 	地域学校協働推進事業(体験寺子屋事業補助金) 補助率1/2 社会教育課 地域の民間団体向けの補助金。子供会やスポーツ団体など、地域と連携してこどもの体験活動実施を支援。 
介護事業所の産休等代替職員雇上事業費補助金 全額補助 介護保険課 介護職員の出産・傷病等に伴う代替職員の雇用を行う施設に対する補助。 	子育てに優しいまちづくり事業費補助金 補助率1/3 こども政策課 少子化対策や「こどもまんなか社会」の実現に向けた支援事業。 
食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業費補助金 補助率1/2 マーケティング課 輸出相手国の規制やニーズに対応した施設整備や機器の導入に対する補助。 	中小企業向制度融資促進費助成 利子補給 商工金融課 中小企業者の経営力強化を図るためセーフティネット資金を低利で融資するための助成。 

2 個人に対する補助制度

教科書学習書購入費補助金 全額補助又は3/4 高校教育課 公立高校の定時制・通信制課程に在学する生徒に対して教科書・学習書購入費を助成。 	遠距離通学費補助金 補助率1/2又は3/8 高校教育課 遠距離通学を行う高等学校生徒の通学費負担基準額を超える額の一部を助成。 
省エネ住宅新築等事業費補助金 40万円 住まいづくり課 省エネ性能が高い住宅の新築及び購入に対する助成。 	高校生の留学促進事業費補助金 一部補助 高校教育課 県内高校に在籍する生徒で学校教育の一環として海外留学をする者に費用の一部を助成。 
被災者自立生活再建支援補助金 一部補助 健康福祉部企画政策課 自然災害により住家に著しい被害を受けた被災者の生活再建を支援。 	

静岡県の補助金・助成金をもっと詳しく知りたい方は、目的に合わせて、
公式サイトや専用ポータルサイトで検索できます。

補助金ポータルサイト▶



ただいま
制作中!

今秋公開!!

マンガ

「たみこはなぜ県議会議員になったのか?」

協力:紅林直氏(城内中学同級生:マンガ「嬢王」の作者)

天野たみこが県議会議員を目指すまでの自伝マンガです
多くの方に想いが届くことを願って制作に踏み切りました

